



● 其の参 空堀

城の周囲に掘った溝のこと。水が張られていない堀を空堀といいます。高山城の空堀は堀底を通路として利用していたようです。また底がV字形の薬研堀（やげんぼり）の他にも箱形の断面をもつ底の平坦な大きな箱堀跡も残っています。そこは乗馬の練習などにも利用されていたそうです。



● 其の四 枡形

枡のような四角の広場。枡形には二通りの使われ方が伝わっています。この広場に兵を集め、人数を数えていたという説と、もうひとつは囲いのようなものをして、その中をまわるような通路をつくって敵を足止めするものだという説です。

高山城を支えた 城内の防衛システム



● 其の壹 本丸土塁

土を盛って防戦に備えたところ。城によつては軽石を敷いてその上に石を敷き詰めてあったそうです。この石で土の流出を防ぎ、また敵が攻めてきたときには、石をはがして上からぶつけて防ぐという使い方をしたそうです。高山城の土塁は当時の姿できれいに残っています。



● 其の弐 切岸

斜面を削って人工的に断崖としたもの。敵の侵入を防ぐためのもので、特に山城の周囲に多くつくられました。削った土は、曲輪の幅に用いられることが多かったそうです。高山城の切岸は本丸を囲うように張り巡らされていて、自然の地形を上手に利用したものとなっています。